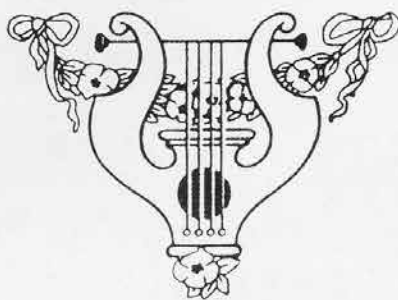




# 鎌倉交響楽団

(創立40周年記念第2回演奏会)

## 第80回定期演奏会



2002年10月27日(日)2:00 p.m.

鎌倉芸術館

[後援] 鎌倉市教育委員会、鎌倉エフエム放送

# メッセージ

## 創立40周年を祝して

鎌倉市長 石渡 徳一



鎌倉交響楽団が創立40周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

鎌倉交響楽団は、昭和38年の発足以来、数々の演奏会を通じて市民が音楽の魅力に触れる機会を提供して下さり、市民文化の向上に多大な貢献をいただいております。鎌倉芸術館を満員にされる市民オーケストラになられるまでの、この40年にわたる団員の皆様の熱意と努力に対し、深く敬意と感謝の意を表します。

創立40周年を迎えられた鎌倉交響楽団が、また新しい歴史を刻まれ、ますますご発展されますことを期待いたしております。

記念演奏会のご盛会と団員の皆様の一層のご活躍を祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。

## 祝 辞

鎌倉市教育委員会教育長 熊代 徳彦



鎌倉交響楽団が創立40周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴団体が、発足以来、より高い文化の創造にたゆまぬ努力を続けられていることに、深い敬意を表します。

鎌倉という豊かな自然環境や歴史的風土という恵まれた条件のもとで、文化都市にふさわしい芸術的実践をひろげてこられた貴団体の活動は、市民の文化向上に大きな役割を果たしました。

創立40周年にあたり、鎌倉交響楽団の今後のご発展と団員の皆様方のますますのご精進をお祈りし、お祝いのことばといたします。

## 祝 辞

鎌倉市文化協会理事長 蓼沼 誠一



このたびは鎌倉交響楽団創立40周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

貴楽団は、楽器置場や安定した練習場がないにもかかわらず、困難を乗り越えて春・秋の定期演奏会やサマーコンサート、ニューイヤーコンサート、ミニコンサート等を開催し、多くの市民に親しまれており、今回の定期演奏会は、80回を数えるとのこと、団員の皆様方の熱意と努力に深く敬意を表します。

貴楽団は、鎌倉市文化協会におきましても創立から中心的役割を果し、当協会の運営にご協力頂きました。ここに深く感謝申し上げます。

鎌倉市に根づいた伝統ある鎌倉交響楽団が末永く発展しますことを心より祈念しまして、私のお祝いの言葉とします。

# メッセージ

## ごあいさつ

名誉団長 日比谷平一郎

昭和38年に当時市役所に勤務されていた服部甚蔵氏より電話があり、お目にかかりたいとの事で参じましたら、当時朝日ジュニア・オーケストラを主催されていた福井孝一氏、伊沢龍作氏、服部甚蔵氏が居られ「今回、アマチュアだけの鎌倉交響楽団を作るので、私にコンサートマスターをやってくれないか」との要請を受けたのが、私と鎌倉交響楽団との出会いでありました。第1回の演奏会は、前海軍軍楽隊長の故東清蔵氏の指揮で始まりました。発足時には当時学生であった現団長の山本賢二氏や、男女数名も今なお現役として活躍しております。20名足らずであった団員は、今や120名にも達しています。



鎌倉市はじめ鎌倉市芸術文化振興財団、音楽クラブの方々のご支援があったからこそ、深く感謝する次第です。この楽団は古都鎌倉に相応しい、柔らかい雰囲気を持った楽団と自負しております。今後も聴衆の方々共々宜しくご支援下さるようお願い申し上げます。

## ごあいさつ

40周年実行委員長 吉田 龍夫

昨年の夏に結成された「40周年実行委員会」も今回の演奏会が最後の仕事になります。皆様の絶大なるご支援に心よりに感謝を申し上げます。

活動はまず団員の総意を集めるためのアンケートから始まりました。その結果に基づいて、今回80回定期の曲目の選定作業に入ったのです。多くの候補曲の中から、徹底的な議論を経て、鎌響の真の実力を発揮し得るであろう、またお聴きいただける方々にもご満足いただけるであろうと、この3曲が決まりました。ブラームスではその楽しさを、バッハでは家庭的な温かさを、そしてマーラーではその壮大さを味わっていただきます。多くの聴き所の中から、私がお推薦申し上げる1箇所は、マーラーの4楽章の中間部「十分に歌って」です。毎回の練習でも、弦楽器主体で演奏されるこの部分を聴くたびに、私は心をかき乱されるような感動を覚えるのです。ご期待下さい。



これからも鎌響へのご支援よろしくようお願い申し上げます。そして、最後に私の「大先輩」の言葉を借りて、40周年実行委員会の締めとします。「我が鎌響は永久に不滅です」と…。有難うございました。



2002・5・18 第79回定期演奏会

# プロフィール



## 指揮／古谷 誠一 (こたに せいいち)

東京大学文学部卒業。在学中から指揮を三石精一氏に師事。東大オーケストラの指揮、NHK東京放送合唱団の伴奏ピアノをはじめ、東京室内歌劇場、長門美保歌劇団、ステファノオペラ劇場などで数多くの副指揮者を務める。在学中から桐朋学園オーケストラ研究生（指揮専攻）として、指揮を秋山和慶、堤俊作、尾高忠明の各氏に、作曲・ピアノを故矢代秋雄、三善晃、末吉保雄の各氏に師事。

二期会中四国支部のモーツァルト「魔笛」公演を指揮して指揮活動を始める。以降、長門美保歌劇団の「チャルダッシュの女王」、日本バレエ協会での「バヤデルカ」「シェラザード」、日生劇場での東宝ミュージカル「マイ・フェア・レディ」など活動の場を広げている。「ドン・ジョヴァンニ」「ボエーム」「椿姫」等のオペラから「サウンド・オブ・ミュージック」「アニーよ銃をとれ」等のミュージカル、「カルミナ・ブラーナ」、ブリテンの「戦争レクイエム」、ヤナーチェクの「グラゴール・ミサ」、ヴェルディ、ベルリオーズの「レクイエム」などの大掛かりな舞台作品まで、手がけた作品はあらゆるジャンルにわたっている。

最近7年間にわたって日本オペレッタ協会の定期公演を手がけ、その間「ルクセンブルグ伯爵」「マリッツァ伯爵夫人」「白馬亭」「微笑みの国」など、日本で演奏されることの少なかったオペレッタを数多く指揮して高い評価を得る。また、東京シティフィル、新日フィル、九州交響楽団、関西フィル、N響団友オケ、名古屋フィルなど数多くのオーケストラを指揮。1997年10月にはカーネギーホールにて、セント・ルークスオーケストラ（ニューヨーク）を指揮し、絶賛される。

昭和音楽大学、愛知県立芸術大学各講師を経て、現在、名古屋芸術大学教授、セントラル愛知交響楽団正指揮者。



## ヴァイオリン独奏／松野 美智子 (まつの みちこ)

国立音楽大学 器楽科卒業。

鎌倉交響楽団のコンサートマスターを10年間務める。室内楽の分野でも活動し、1989年「カンマームジーク鎌倉」を結成。室内楽演奏会、ソロ・リサイタル等を定期的に開催している。

1999年アスターナ弦楽合奏団のカナダ演奏旅行、2000年湘南エールアンサンブルのドイツ演奏旅行に参加、各地で好評を得た。



## ヴァイオリン独奏／五味 俊哉 (ごみ としや)

1968年山梨県甲府市生まれ。4歳よりヴァイオリンを始め、これまでに故高杉忠一、小林武史、松野美智子の各氏に師事。中学高校在学中のクラブ活動を通じてアンサンブルの楽しさを知る。

大学卒業後の1992年に鎌倉交響楽団に入団。1993年に同楽団のコンサートマスターに就任。銀行勤務の傍ら、趣味としてオーケストラ・室内楽の活動を続けている。

現在鎌倉市在住。

## トレーナー（敬称略）

井上 善惟、小泉 智彦、高山 泰利、角 岳志、平林 剛、三輪 純生、森 雅彦

◆今回の演奏会にあたり、上記の諸先生方にもご指導いただきました。

# プログラム

## 鎌倉交響楽団第80回定期演奏会

*Kamakura Symphony Orchestra The 80th Regular Concert*

[指揮] 古谷誠一

*Seiichi KOTANI, conductor*

### 大学祝典序曲

*Academic Festival Overture, Op.80*

J.ブラームス (1833-1897)

*Johannes Brahms*

### 2つのヴァイオリンのための協奏曲

*Concerto in d minor for two violins, BWV1043*

J.S.バッハ (1685-1750)

*Johann Sebastian Bach*

第1楽章 ヴィヴァーチェ

I. Vivace

第2楽章 ラルゴ・マ・ノン・タント

II. Largo, ma non tanto

第3楽章 アレグロ

III. Allegro

ヴァイオリン独奏：松野 美智子

*Michiko Matsuno, violin*

五味 俊哉

*Toshiya Gomi, violin*

休憩 *Intermission*

### 交響曲 第1番 ニ長調 《巨人》

*Symphony No.1 in D major*

G. マーラー (1860-1911)

*Gustav Mahler*

第1楽章 ゆっくりと、重々しく。自然の音のように； 始めは非常にゆったりと

I. Langsam. Schleppend. *Wie ein Naturlaut* ; Im Anfang sehr gemächlich

第2楽章 力強く動きをもって、しかし速すぎず； トリオ。適度にゆったりと

II. Kräftig bewegt, doch nicht zu schnell ; Trio. Recht gemächlich

第3楽章 荘重に悠々と、しかし引きずらずに

III. Feierlich und gemessen, ohne zu schleppen

第4楽章 嵐のように動きをもって

IV. Stürmisch bewegt

# 曲目解説

## 大学祝典序曲

J.ブラームス (1833 - 1897)

1879年、46歳のブラームスは、自国ドイツのブレスラウ大学から名誉博士号を贈りたいとの申し出を受けました。実はその3年前、イギリスのケンブリッジ大学からも同じような申し出があったのですが、それを受けるにはわざわざイギリスへ出向いて儀式に出席せねばならず、船旅と英語が苦手だった彼は辞退しました。しかしブレスラウ大学ではそのような面倒がなかったため、ブラームスはこの称号を受け、お礼として翌年に「大学祝典序曲」を作曲しました。楽しく活気に溢れたこの曲を作ったのと同じ頃、まるで気持ちの上でのバランスを取るかのよう「悲劇的序曲」を作曲しています。ブラームス自身、友人に宛てた手紙の中で、前者を「笑う」序曲、後者を「泣く」序曲と呼んでいます。また彼はこの相対的な2つの序曲をすぐにピアノ四手用に編曲し、生涯敬愛を捧げた女性クララ・シューマンの誕生日にプレゼントしました。「大学祝典序曲」の管弦楽版は、彼らしい慎重さで試演と修正を繰り返した後、1881年ブレスラウで、ブラームス自身の指揮で公開初演されました。

この曲には、ドイツの学生達の間で歌われていたメロディーが織り込まれています。冒頭は軽快なきざみから始まり、これから起きる何かへの明るい期待を感じさせます。やがて金管楽器によるコラール、これは「われらは立派な校舎を建てた」という学生歌です。曲が華やかな行進曲風に転じた後、学生達が宴会で歌う「ランデスファーター（国の父）」のメロディーが弦楽器によって豊かに奏されます。次に、ファゴットのスタッカートでユーモラスな「新入生の歌」が始まります。これらのメロディーが形を変えながら現われ、曲の調子は歓喜へとのぼりつめていきます。再び「新入生の歌」が登場し、今度は管楽器の大合唱のように奏されます。そして最後に4つめの学生歌「楽しく歌え」で、学生達の若さと熱気を表すかのように、力強く曲を結びます。

## 2つのヴァイオリンのための協奏曲

J.S.バッハ (1685 - 1750)

「音楽の父」とも呼ばれるJ.S.バッハは、多声音楽を完成させて数々の名曲を残し、バロック音楽の最後を飾ると同時に後世に多大な影響を与え続けています。ドイツの音楽一家に生まれ、10歳で両親を失ってオルガニストの兄に引き取られた彼は、少年聖歌隊員の活動を経てオルガニストとして活躍するようになりました。宮廷オルガニストの名声を得、1717年にはレオポルト侯の宮廷楽長となりました。「2つのヴァイオリンのための協奏曲」は、地位と環境に恵まれたこの時期に作曲されたものと考えられています。2度目の候妃が音楽嫌いだったためにやがてここを去り、1723年ライプツィヒの教会の音楽監督となって、亡くなるまで27年間この職をつとめました。その生涯での作品は、声楽曲、オルガン曲、クラヴィーア曲、室内楽曲、管弦楽曲など、何百という数にのぼります。またバッハの一族は優れた音楽家を何人も輩出し、一時はバッハといえば音楽家の代名詞であったといわれます。

独奏者を置いての協奏曲はこの時代まだ比較的新しいスタイルで、ヴィヴァルディをはじめとするイタリアの作曲家たちにより確立しつつありました。バッハもこれにのっとり、「急-緩-急」の3楽章形式でヴァイオリン、チェンバロ、オーボエなどの協奏曲をいくつか書いています。

この曲では、2つのヴァイオリンが対等に扱われ、掛け合うようにして展開していきます。独奏者たちが競い合うように華麗に織り成す第1楽章、美しい旋律が心をつつ優雅な第2楽章、第3楽章は独奏と合奏が調和し、力強さをも感じさせます。

本日は鎌響が誇る二人のヴァイオリニスト、松野・五味両氏の独奏、さらに常任指揮者古谷氏によるチェンバロ演奏でお聴きいただきます。オーケストラは、長年にわたり鎌響を愛し支えてきたベテランメンバーが中心となっております。古都鎌倉で我々が培ってきた響きを、どうぞお楽しみ下さい。

# 曲目解説

## 交響曲 第1番 ニ長調 《巨人》

G.マーラー (1860-1911)

マーラーは当時オーストリア領だったボヘミアの町に生まれ、幼い頃から音楽的才能を発揮しました。ボヘミアの民謡、近くにあった兵舎のラッパの音や兵士達の行進、自然の中で過ごした休暇、そして可愛がっていた弟の死など、少年時代の体験は彼の作品の中に色濃く投影されています。

15歳でウィーンに出て音楽院に学び、20歳からは次々と各地の歌劇場で指揮者として活動するようになり、20代後半にはすでに名指揮者としてヨーロッパ中に知られる存在となりました。マーラーは非常な完璧主義者で、上演前には入念な準備を施し、劇場ではエネルギー溢れる情熱的な指揮で観客達を熱狂させたといえます。またその斬新さは、当時の人々の賛否両論を引き起こしました。

人気指揮者として多忙な中でも、彼は自作の曲で自分を表現したいと強く望んでいました。そして大編成の交響曲と、管弦楽伴奏の歌曲のジャンルでそれを実現させました。

交響曲第1番は1889年に「2部からなる交響詩」として初演され、1892年にはドイツ・ロマン派の作家ジャン・パウルの「巨人」という詩にもとづいた標題をつけてあらためて初演されました。そのとき各楽章には次のような題が与えられていました。

第1部「若き日々から」 1. はてしない春 2. 花の章 3. 帆をあげて

第2部「人間喜劇」 4. 難破して、カロ風の死者の行進 5. 地獄から楽園へ

しかしやがてマーラーは、付けた題を全て取り消しました。これは、標題音楽として扱われることで曲のイメージが限定されるのを避けようとしたためといわれています。さらにもともと第2楽章であった「花の章」を削除して、現在の4楽章からなる交響曲としました。もとの標題の名残で、彼の交響曲第1番は現在も「巨人(タイタン)」と呼ばれることが多いのです。

この曲は、同時期に作曲に着手した歌曲集「さすらう若人の歌」と密接な関係があります。この歌曲集は、マーラー自身の失恋体験がもとになっているといわれています。この歌曲が交響曲中に引用され、若者の憧れ・苦悩・救済・自然といった共通のテーマが浮かび上がってきます。

マーラーの完璧主義は作品の中にも現われており、指揮者や演奏家に対することこまかな指示が、楽譜のあちこちに書きこまれています。一般的な音楽用語では事足りず、ドイツ語の辞書を引かなければ読めないような文章も…。本日のステージでも奏者に見慣れない動きがあるかと思いますが、決して団員が勝手に目立とうとしているわけではなく、どれもマーラーの指示通りにおこなっていることだとお考え下さい！

第1楽章： 「ゆっくりと、重々しく、自然の音のように」 と書かれた神秘的な響きに始まり、遠方からのファンファーレやカッコウの鳴き声が聞こえてきます。やがて低弦により始まる主題は、「さすらう若人の歌」第二曲で、朝の野原に行く傷心の若者に、鳥や花が陽気に挨拶する場面の引用です。この主題を様々な楽器が受け継ぎながら、曲は段々と活気を増し、鮮烈に締めくくられます。

第2楽章： 「力強く、動きをもって」 農民たちの民族舞踊を思わせる、素朴で力強い3拍子。トリオに入るとのんびりとした曲調に変わりますが、再び躍動感を取り戻し、加速度を付けて終わります。

第3楽章： 「荘重に悠々と、しかし引きずらずに」 ティンパニの伴奏に乗って、コントラバスが「フレール・ジャック」を短調で歌い出し、これを次々と他の楽器が追いかけていきます。続いて情緒豊かなメロディーと民俗風の前奏の後、「さすらう若人の歌」終曲より、苦悩から解放される場面の引用がヴァイオリンによって歌われます。そして再び葬送行進曲が静かに進んでいきます。

第4楽章： 「嵐のように、動きをもって」 シンバルの一撃から、強烈な響きで始まります。管楽器による挑戦的な第1主題から「ものすごい荒々しさで」との指示を通過し、やがて静まっていきます。穏やかな第2主題が弦楽器を中心に奏されますが間もなく激しい動きが再開します。第1楽章やこの楽章の主題が巧みに再現された後、ついに勝利のときを迎え、ホルンが「全ての音を消してしまうほど」力強く奏されます。そして勝ち誇ったような熱狂のうちにこの曲を終えます。

# 鎌響の40年とこれから 団長 山本 賢二

鎌倉交響楽団は、本年めでたく創立40周年を迎えました。これまで団を支えていただいた今日ご参集の皆さまを始め多くの地元の皆さまに心より御礼申し上げます。

鎌響第1回の定期演奏会は1963年6月ですが、厳密にいきますと1947年～1951年まで、プロ・アマ混成の「鎌倉交響楽団」が結成されており、故尾高尚忠、故前田幸市郎氏の指揮の下、当時16歳の江藤俊哉氏、故斎藤秀雄氏などもメンバーとして戦後の混乱期の中で光彩を放っていたとのことであります。（当団名誉団長日比谷平一郎さんは、この第1期鎌響以来の唯一の現役メンバーです。）その後、1959年～1963年初頭まで活動していた青少年対象の朝日ジュニア・オーケストラを引き継ぐ形で、63年春、純然たる市民のアマチュア・オーケストラとして誕生したのが現在の鎌倉交響楽団で、いわば第2期鎌響ということになります。設立の発起人にはいずれも鬼籍に入られた野村光一氏、福井紘一氏、服部甚蔵氏、鉄能子氏、山岡寿美子氏等が名を連ね、設立趣意書には「文化都市としての本市にふさわしい高度の楽団を結成して…」と高らかにその精神が謳われています。



設立当時の課題は、オーケストラの活動に最低限必要なインフラ（ティンパニーなど大型楽器、楽譜、練習場など）の整備と団員の確保でした。前者については市当局のご支援と前身オケの遺産等により何とか形を整えることが出来ましたが、団員については、名簿上は人数が揃っていても週1回の練習への出席率が悪く、10名に満たないメンバーでベートーヴェンのシンフォニーの練習をするといったことがしばしばでした。それでも近隣オーケストラや知人、プロの演奏家などの応援を得て、何とか年2回の定期演奏会を今日まで続けることが出来ました。この間、技術指導面では故東清蔵、故前田幸市郎、高橋誠也、吉水洋、古谷誠一等の諸先生、運営面では故福井孝一、故伊澤龍作、故服部甚蔵、澤田五十二、加藤律美等の諸先輩に鎌響の発展のために献身的なご尽力をいただきました。創立40周年を迎えるにあたり、心より感謝いたします。これらの方々の熱心なご指導と地道な運営努力により、1975年頃からゆとりを求め始めた日本社会に呼応するように団員も徐々に増加し、現在では120名を数えるに至りました。

活動面では、1981年にニューイヤーコンサートを開始して今日までお客さまに親しまれており、恒例の鎌倉市幼稚園協会のご依頼による、年長園児さんを対象にした楽しい演奏会は、30年継続しております。団員による年2回の室内楽演奏会は、一般に公開され33回を数えております。1993年には待望の鎌倉芸術館が完成し、早速定期での第九の演奏、ニューイヤーコンサートでのバレエとの協演（1998年）、芸術館行事の「鎌倉の音楽家によるコンサート」への出演（隔年）、1999年には、お招きを受けて姉妹都市萩での第九演奏会に出演するなど活動が一段と多様化いたしました。この12月22日には、芸術館主催の鎌倉市民「第九」コンサートに出演し300名のコーラスと協演いたします。演奏曲目の面でも、団員の議論を重ねながら従来の古典中心に加え本日のマーラーや、R.シュトラウス、ドビュッシーなど近現代の代表的な作品にも挑戦を続けております。創立15周年当時の夢は「団員100人の『第九』により、新しいホールの柿落としを行う事」でしたがこれは、おおむね実現いたしました。

30周年の時点では（1）常時演奏会に使用できる音響の良いコンサートホールと（2）保管庫を備えた練習場の確保、を最大の課題としていました。40周年を迎えた今日、依然として上記の（2）が最大の悩みとして残されており、この実現に向けて皆さまのご理解とご支援を心よりお願いしたいと思います。

私どもはこれからも今まで以上に市民の皆さまに親しまれ可愛がっていただける鎌響であり続けられるよう、一層のアンサンブルの向上と運営の充実に努力していく所存でございます。

本日は誠に有難うございました。



# 鎌響40年の歩み

## 1963年 (昭和38年)

□結成記念演奏会 (6/15) 指揮 中田豊太郎、東清蔵  
ベートーヴェン／エグモント序曲  
ハイドン／P f協 (P f 川野一)  
シューベルト／未完成交響曲

□第2回定期演奏会 (11/17) 指揮 東清蔵、中田豊太郎  
ベートーヴェン／田園交響曲  
モーツァルト／H r協 (H r リチャード・A・プロット)  
ヨハン・シュトラウス／皇帝円舞曲  
リスト／ハンガリー狂詩曲



鎌響 第1回定期演奏会  
(結成記念演奏会)

## 1964年 (昭和39年)

□第3回定期演奏会 (5/13) 指揮 前田幸市郎、東清蔵  
ニコライ／「ウインザーの陽気な女房達」序曲  
ベートーヴェン／運命交響曲  
モーツァルト／P f協「戴冠式」(P f 朽木みどり)  
グノー／ファウストより  
エルガー／威風堂々

□第4回定期演奏会 (11/21) 指揮 前田幸市郎  
グルック／「アウリスのイフゲニア」序曲  
グリーク／P f協 (P f 笠原みどり)  
ベートーヴェン／交響曲7

## 1965年 (昭和40年)

□第5回定期演奏会 (5/23) 指揮 前田幸市郎  
ロッシーニ／「セビリアの理髪師」序曲  
モーツァルト／F I協K314 (F I 益山弘)  
ベートーヴェン／交響曲1  
シベリウス／交響詩「フィンランディア」



65.11.28

□第6回定期演奏会 (11/28) 指揮 前田幸市郎  
ウェーバー／オベロン序曲  
モーツァルト／V n協5 (V n 森康子)  
ベートーヴェン／英雄交響曲

## 1966年 (昭和41年)

□第7回定期演奏会 (5/28) 指揮 前田幸市郎  
チャイコフスキー／

「白鳥の湖」より  
モーツァルト／P f協K488  
(P f 山岡優子)

ドヴォルザーク／新世界交響曲

□第8回定期演奏会 (11/27)

指揮 前田幸市郎

チャイコフスキー／

「くるみ割り人形」より、

アンダンテカンタービレ

チャイコフスキー／

「弦楽セレナーデ」よりワルツ

チャイコフスキー／悲愴交響曲



故 前田幸市郎氏 楽屋にて

## 1967年 (昭和42年)

□第9回定期演奏会 (5/27) 指揮 前田幸市郎  
ワーグナー／「ニュルンベルグの名歌手」前奏曲  
ショパン／P f協 (P f 安田寿子)  
メンデルスゾーン／イタリア交響曲

□第10回定期演奏会 (10/29) 指揮 前田幸市郎、東清蔵

モーツァルト／歌劇「フィガロの結婚」序曲

エルガー／威風堂々

メンデルスゾーン／V n協 (V n 蓬田清重)

フランク／交響曲

## 1968年 (昭和43年)

□第11回定期演奏会 (5/25) 指揮 高橋誠也、前田幸市郎

ベートーヴェン／コリオラン序曲

ベートーヴェン／P f協3 (P f 高橋アキ)

ブラームス／交響曲1

□第12回定期演奏会 (10/27) 指揮 前田幸市郎

リスト／交響詩「前奏曲」

ハイドン／O b協 (O b 大野守)

ヨハン・ペッツェル／スリー・ピーセス、ソナタNo. 1

ハイズィンガー／ティンパニーと金管の為のマーチ

ベートーヴェン／交響曲2

## 1969年 (昭和44年)

□第13回定期演奏会 (6/21) 指揮 高橋誠也、前田幸市郎

クリスティアン・バッハ／シンフォニア

ブルッフ／Vn協1 (Vn林信子)

ドヴォルザーク／交響曲8

□第14回定期演奏会 (10/26) 指揮 前田幸市郎

メンデルスゾーン／フィンガルの洞窟

スメタナ／モルダウ

ガーシュイン／ラプソディ・イン・ブルー

(Pf 矢野義明)

リチャード・ロジャース／「サウンド・オブ・ミュージック」より

## 1970年 (昭和45年)



岩井海岸合宿

□第15回定期演奏会 (5/24) 指揮 高橋誠也

ベートーヴェン／エグモント序曲

ブラームス／交響曲2

ストラヴィンスキー／管楽器の為のシンフォニー

「ドビュッシーの思い出によせて」

□第16回定期演奏会 (10/25) 指揮 高橋誠也、前田幸市郎

パーセル／組曲1

ベートーヴェン／Pf協「皇帝」(Pf 生野晴子)

ベートーヴェン／運命交響曲

## 1971年 (昭和46年)

□第17回定期演奏会 (5/8) 指揮 吉水洋、前田幸市郎

ウェーバー／「オベロン」序曲

モーツァルト／Pf協「戴冠式」(Pf 鈴木寛子)

シューベルト／未完成交響曲

□第18回定期演奏会 (11/27) 指揮 吉水洋、前田幸市郎

モーツァルト／歌劇「後宮よりの逃走」序曲

ベートーヴェン／Vn協 (Vn松原千子)

ドヴォルザーク／交響曲「新世界より」

## 1972年 (昭和47年)

□第19回定期演奏会 (5/28) 指揮 吉水洋

ロッシーニ／「セミラーミデ」序曲

モーツァルト／Pf協K466 (Pf 鈴木寛子)

ベートーヴェン／交響曲1

ハチャトゥリヤン／ガヤーネ

□第20回定期演奏会 (11/25) 指揮 吉水洋、前田幸市郎

グルック／「アウリスのイフゲニア」序曲

ドヴォルザーク／Vc協 (Vc 前田幸康)

モーツァルト／交響曲40

## 1973年 (昭和48年)

□第21回定期演奏会 (5/27) 指揮 吉水洋

シューベルト／「ロザムンデ」序曲

ベートーヴェン／交響曲8

モーツァルト／フルートとハープのための協奏曲

(Fl 内田秀夫、Hp 野畑潤子)

□第22回定期演奏会 (11/3) 指揮 吉水洋、前田



録音Tシャツ

幸市郎

メンデルスゾーン／フィンガルの洞窟

グリーグ／Pf協 (Pf 富沢民子)

ブラームス／交響曲4

## 1974年 (昭和49年)

□第23回定期演奏会 (5/25) 指揮 吉水洋

モーツァルト／歌劇「魔笛」序曲

テレマン／Ob協 (Ob 吉水洋)

ヘンデル／水上の音楽

シューベルト／未完成交響曲

□第24回定期演奏会 (11/3) 指揮 吉水洋、前田幸市郎

ワーグナー／「ニュルンベルグの名歌手」前奏曲

ショパン／Pf協1 (Pf 久保田裕子)

シューベルト／交響曲7



御成小学校での練習風景

## 1975年 (昭和50年)

- 第25回定期演奏会 (5/25) 指揮 吉水洋  
ウェーバー／歌劇「魔弾の射手」序曲  
モーツァルト／P f 協2 1 (P f 間瀬すみ)  
ベートーヴェン／英雄交響曲
- 第26回定期演奏会 (11/3) 指揮 吉水洋、前田幸市郎  
ビゼー／「アルルの女」2組曲  
ラフマニノフ／P f 協奏曲2 (P f 野口公子)  
ベートーヴェン／交響曲1

## 1976年 (昭和51年)

- 第27回定期演奏会 (4/24) 指揮 前田幸市郎  
グノー／歌劇「ファウスト」よりバレエ音楽組曲  
モーツァルト／V n 協5 (V n 三戸康雄)  
ブラームス／交響曲1
- 第28回定期演奏会 (11/3) 指揮 吉水洋  
ベートーヴェン／エグモント序曲  
ベートーヴェン／P f 協「皇帝」(P f 重松正大)  
ベートーヴェン／交響曲7

## 1977年 (昭和52年)

- 第29回定期演奏会 (5/22) 指揮 吉水洋  
ウェーバー／オペロン序曲  
モーツァルト／P f 協2 4 (P f 小牧洋子)  
メンデルスゾーン／交響曲「スコットランド」
- 第30回定期演奏会 (10/30) 指揮 吉水洋、前田幸市郎  
モーツァルト／「フィガロの結婚」序曲  
グリーク／P f 協 (P f 間瀬すみ)  
ベートーヴェン／田園交響曲

## 1978年 (昭和53年)

- 第31回定期演奏会 (5/21)  
指揮 吉水洋  
ドヴォルザーク／序曲「謝肉祭」  
ブラームス／交響曲2  
メンデルスゾーン／V n 協  
(V n 梅津南美子)
- 第32回定期演奏会 (10/29)  
指揮 吉水洋、前田幸市郎  
ロッシェニ／歌劇「盗むかささぎ」序曲  
ドヴォルザーク／交響曲8  
ベートーヴェン／P f 協3 (P f 竹内玲子)



- ビゼー／「アルルの女」組曲1、組曲2  
ベートーヴェン／運命交響曲
- 第34回定期演奏会 (10/28) 指揮 古谷誠一、前田幸市郎  
モーツァルト／交響曲4 0  
ドヴォルザーク／V c 協 (V c 荻田雅治)  
ワーグナー／「ニュルンベルグの名歌手」前奏曲

## 1980年 (昭和55年)

- 第35回定期演奏会 (5/17) 指揮 藤原義章、前田幸市郎  
メンデルスゾーン／序曲「フィンガルの洞窟」  
ラフマニノフ／P f 協2 (P f 神野明)  
チャイコフスキー／交響曲5
- 第36回定期演奏会 (10/28) 指揮 古谷誠一、前田幸市郎  
ヴェルディ／「運命の力」序曲  
ショパン／P f 協1 (P f 大坪由子)  
ブラームス／交響曲4

## 1981年

(昭和56年)

- ニューイヤークンサート (1/24) 指揮 古谷誠一  
ヨハン・シュトラウス／「こうもり」序曲、春の声、ピチカートポルカ、狩のポルカ  
バッハ／G線上のアリア  
スッペ／「詩人と農夫」序曲他
- 第37回定期演奏会 (5/16) 指揮 古谷誠一  
ブラームス／大学祝典序曲  
モーツァルト／交響曲「ハフナー」  
ドヴォルザーク／新世界交響曲
- 第38回定期演奏会 (10/25) 指揮 古谷誠一、前田幸市郎  
シューベルト／未完成交響曲  
ベートーヴェン／V n 協 (V n 海老原はるみ)  
リスト／交響詩「前奏曲」



## 1982年(昭和57年)

□ニューイヤーコンサート(1/17) 指揮 古谷誠一  
スッペ/「軽騎兵」序曲  
ヴォーン・ウィリアムズ/グリーンスリーフヴスに  
よる幻想曲

ヨハン・シュトラウス/芸術家の生涯、雷鳴と稲妻、  
美しき青きドナウ

□第39回定期演奏会(5/15) 指揮 古谷誠一、前田幸市郎

モーツァルト/「魔笛」序曲  
サン・サーンス/アルジェリア組曲  
ベートーヴェン/英雄交響曲

□第40回定期演奏会(11/27) 指揮 古谷誠一、前田幸市郎

古谷誠一/前奏曲「鎌倉の思い出」  
ベートーヴェン/交響曲「合唱付」  
(S岩崎由紀子、A稲本まき子、T篠崎義昭、B工藤博)  
(鎌倉市混声合唱教室)



## 1983年(昭和58年)

□第41回定期演奏会(5/14) 指揮 前田幸市郎  
シューマン/交響曲「春」  
ブルッフ/Vn協1(Vn梅津南美子)  
ベートーヴェン/レオノーレ序曲3



□第42回定期演奏会(10/23) 指揮 古谷誠一、前田幸市郎  
ベルリオーズ/「ローマの謝肉祭」序曲  
ハイドン/交響曲「驚愕」  
ブラームス/交響曲1

## 1984年(昭和59年)

□ニューイヤーコンサート(1/22) 指揮 古谷誠一  
モーツァルト/「フィガロの結婚」序曲  
チャイコフスキー/組曲「くるみ割り人形」  
ヴィヴァルディ/協「四季」より春(Vn松野美智子)  
宮城道雄/春の海(F1吉田龍夫)  
ヨハン・シュトラウス/芸術家の生涯、  
ウィーンの森の物語

シベリウス/フィンランディア

□第43回定期演奏会(5/27) 指揮 古谷誠一、前田幸市郎

ニコライ/「ウインザーの陽気な女房達」序曲  
モーツァルト/Pf協27(Pf奈良英子)  
チャイコフスキー/交響曲4

□第44回定期演奏会(10/21) 指揮 古谷誠一、前田幸市郎

ワーグナー/「リエンチ」序曲  
グリーグ/Pf協(Pf渡辺健二)  
ベートーヴェン/交響曲7

## 1985年(昭和60年)

□ニューイヤーコンサート(1/20) 指揮 古谷誠一  
グリンカ/「ルスランとリュドミラ」序曲  
ベートーヴェン/運命交響曲、他

□第45回定期演奏会(5/26) 指揮 古谷誠一、前田幸市郎

シャブリエ/狂詩曲「スペイン」  
ドビュッシー/小組曲  
フランク/交響曲

□第46回定期演奏会(11/10) 指揮 前田幸市郎  
モーツァルト/「ドン・ジョバンニ」序曲

ブラームス/交響曲2  
バッハ/2Vn協奏曲(Vn前澤均、前澤悦子)

## 1986年(昭和61年)

□ニューイヤーコンサート(1/19) 指揮 古谷誠一  
ビゼー/「カルメン」より前奏曲、  
ハバネラ、手紙の二重唱、花の歌  
(MS中山洋子、T篠崎義昭、S三縄みどり)  
ヨゼフ・シュトラウス/天体の音楽  
ホルスト/組曲「惑星」より木星

□第47回定期演奏会 (5/25) 指揮 古谷誠一  
モーツァルト／歌劇「後宮よりの逃走」序曲  
リスト／P f 協1 (P f 牧野さおり)  
ブルックナー／交響曲「ロマンティック」

□第48回定期演奏会 (11/15) 指揮 前田幸市郎  
モーツァルト／交響曲「ジュピター」  
ドヴォルザーク／V c 協 (V c 倉田澄子)  
スメタナ／交響詩「モルダウ」

## 1987年 (昭和62年)

□ニューイヤーコンサート (1/25) 指揮 古谷誠一  
ヨハン・シュトラウス／「こうもり」序曲  
プロコフィエフ／ピーターと狼  
ウェーバー／舞踏への勧誘  
ヨハン・シュトラウス／芸術家の生涯  
サラサーテ／チゴイネルワイゼン (マリンバ角田桂子)  
外山雄三／ラブソディー

□第49回定期演奏会 (5/31) 指揮 古谷誠一  
ベートーヴェン／田園交響曲  
サン・サーンス／V n 協3 (V n 景山誠治)  
ワーグナー／「タンホイザー」序曲

□第50回定期演奏会 (10/25) 指揮 前田幸市郎  
モーツァルト／「フィガロの結婚」序曲  
ベルリオーズ／幻想交響曲  
モーツァルト／フルートとハープのための協奏曲  
(F 1 湯川和雄、H p 杉山敦子)



## 1988年 (昭和63年)

□ニューイヤーコンサート (1/24) 指揮 古谷誠一  
シベリウス／フィンランディア  
グリーグ／パール・ギェント組曲  
アンダーソン／ブルー・タンゴ、ジャズ・ピチカート  
トランペット吹きの休日  
ガーシュイン／ラブソディー・イン・ブルー (P f 野口公子)

□第51回定期演奏会 (5/14) 指揮 古谷誠一  
モーツァルト／P f 協2 4 (P f 山田美知子)  
マーラー／交響曲「巨人」

□第52回定期演奏会 (11/6) 指揮 宮松重紀、前田幸市郎  
ヴェルディ／「シチリア島の夕べの祈り」序曲  
モーツァルト／交響曲3 9  
チャイコフスキー／交響曲「悲愴」

## 1989年 (昭和64年／平成元年)

□ニューイヤーコンサート (1/29) 指揮 古谷誠一  
チャイコフスキー／「眠りの森の美女」から  
グノー／「ファウスト」より  
久石譲／「天空の城ラピュタ」から  
ウェーバー／「魔弾の射手」序曲  
デュカス／魔法使いの弟子

□第53回定期演奏会 (5/20) 指揮 古谷誠一  
ブラームス／交響曲3  
シューマン／P f 協 (P f 神西敦子)  
ワーグナー／「ニュルンベルグの名歌手」前奏曲

□第54回定期演奏会 (10/29) 指揮 古谷誠一、藤原義章  
ベートーヴェン／交響曲「英雄」から第2楽章  
(前田幸一郎追悼)

ベルリオーズ／序曲「ローマの謝肉祭」  
シベリウス／交響曲2  
モーツァルト／協奏交響曲K 3 6 4 (V n 景山誠治、  
V a 藤原義章)

## 1990年 (平成2年)

□ニューイヤーコンサート (1/21) 指揮 古谷誠一  
フンパーディンク／「ヘンゼルとグレーテル」序曲  
グローフェ／「大峡谷」より  
レスピーギ／「古代舞曲とアリア3」より、  
交響詩「ローマの松」より他

□第55回定期演奏会 (5/13) 指揮 古谷誠一  
ドヴォルザーク／序曲「謝肉祭」  
ハイドン／交響曲「ロンドン」  
ドヴォルザーク／交響曲「イギリス」  
□第56回定期演奏会 (10/28) 指揮 古谷誠一  
ベートーヴェン／レオノーレ序曲3  
ベートーヴェン／V n 協 (V n 松原勝也)  
シューマン／交響曲「ライン」

## 1991年 (平成3年)

□ニューイヤーコンサート (1/27) 指揮 宮松重紀  
ショスタコーヴィチ／祝典序曲  
ヘンデル／水上の音楽

コダーイ／組曲「ハーリ・ヤーノシュ」

□第57回定期演奏会 (5/19) 指揮 古谷誠一  
モーツァルト／「劇場支配人」序曲  
モーツァルト／交響曲「ハフナー」

リムスキー・コルサコフ／交響組曲「シェエラザード」  
(V n 松野美智子)

□第58回定期演奏会 (10/20) 指揮 古谷誠一  
モーツァルト／「魔笛」序曲

チャイコフスキー／P f 協1 (P f 渡辺健二)  
ブラームス／交響曲4

## 1992年 (平成4年)

□ニューイヤーコンサート (1/25) 指揮 古谷誠一  
チャイコフスキー／幻想序曲「ロメオとジュリエット」  
レハール／「メリー・ウイドウ」より (S 小泉恵子、  
T 持田弘)

□第59回定期演奏会 (5/10) 指揮 古谷誠一  
ロッシーニ／「セミラーミダ」序曲

チャイコフスキー／V n 協 (V n 天満敦子)  
シベリウス／交響曲1

□第60回定期演奏会 (11/29) 指揮 古谷誠一  
メンデルスゾーン／序曲「フィンガルの洞窟」  
ラフマニノフ／P f 協2 (P f 津田真理)  
ブラームス／交響曲1

## 1993年 (平成5年)

□ニューイヤーコンサート (1/30) 指揮 古谷誠一  
マスカーニ／「友人フリッツ」間奏曲

マスネ／タイスの瞑想曲 (V n 松野美智子)

チャイコフスキー／バレエ組曲「くるみ割り人形」

ヨハン・シュトラウス／「こうもり」序曲、

ウィーン気質、朝の新聞、皇帝円舞曲

□第61回定期演奏会 (5/30) 指揮 宮松重紀

ロッシーニ／「ウィリアム・テル」序曲

ドヴォルザーク／スラブ舞曲集より

ベートーヴェン／交響曲4

□第62回定期演奏会 (11/27) 指揮 古谷誠一

ワーグナー／「ニュルンベルグの名歌手」前奏曲

ベートーヴェン／交響曲「合唱付」 (S 小泉恵子、

A 河副睦子、T 佐藤一昭、B 水野賢司)

(成城合唱団、大船混声)

1993, 11/27 芸術館柿落とし



## 1994年 (平成6年)

- ニューイヤーコンサート (1/30) 指揮 古谷誠一  
ハイドン/交響曲「ロンドン」  
エルガー/威風堂々  
ブリテン/マチネ・ミュージカル、  
青少年の為の管弦楽入門

- 第63回定期演奏会 (5/15) 指揮 宮松重紀  
ニコライ/「ウインザーの陽気な女房達」序曲  
シベリウス/Vn協 (Vn天満敦子)  
チャイコフスキー/交響曲5  
□第64回定期演奏会 (11/13) 指揮 古谷誠一  
ドビュッシー/牧神の午後への前奏曲  
サン・サーンス/Pf協3 (Pf沼田宏行)  
ベルリオーズ/幻想交響曲

## 1995年 (平成7年)

- ニューイヤーコンサート (1/29) 指揮 宮松重紀  
スッペ/「軽騎兵」序曲  
ベートーヴェン/エグモント序曲  
ベートーヴェン/運命交響曲  
モーツァルト/「魔笛」から  
(S福島直美、悦田比呂子、吉田美保、T君島広昭、  
B中島陽一)

- 第65回定期演奏会 (5/21) 指揮 古谷誠一  
スメタナ/交響詩「モルダウ」  
ドヴォルザーク/交響曲7  
モーツァルト/Pf協「戴冠式」(Pf深澤亮子)  
□第66回定期演奏会 (11/5) 指揮 宮松重紀  
芥川也寸志/交響管弦楽の為の音楽  
ベートーヴェン/Pf協4 (Pf三谷温)  
ショスタコーヴィチ/交響曲「革命」

## 1996年 (平成8年)

- ニューイヤーコンサート (1/27) 指揮 古谷誠一  
チャイコフスキー/「エフゲニー・オネーギン」より  
ポロネーズ  
マーラー/「子供の不思議な角笛」より (A木村圭子)  
シューマン/交響曲「春」  
□第67回定期演奏会 (6/2) 指揮 宮松重紀  
リスト/交響詩「前奏曲」  
ブラームス/交響曲2  
リヒャルト・シュトラウス/Hr協1 (Hr山岸博)  
□第68回定期演奏会 (11/3) 指揮 古谷誠一  
スッペ/「詩人と農夫」序曲  
ベートーヴェン/交響曲8  
ムソルグスキー/展覧会の絵

## 1997年 (平成9年)

- ニューイヤーコンサート (1/25) 指揮 森口真司  
チャイコフスキー/イタリア奇想曲  
レスピーギ/交響詩「ローマの松」  
ジョルダノー/「アンドレア・シェニエ」より  
「祖国の敵か」  
ヴェルディ/「ドン・カルロ」より「私は死んでいく」、  
サンタ・ルチア、オー・ソレ・ミオ、帰れソレントへ  
チレア/「アドリアーナ・ルクヴルール」より  
「さあモノローグだ」  
プッチーニ/「トスカ」より「行け、トスカ」  
(B松尾健市)

- 第69回定期演奏会 (5/24) 指揮 宮松重紀  
ワーグナー/「タンホイザー」序曲  
サン・サーンス/アルジェリア組曲  
ベートーヴェン/交響曲「英雄」  
□第70回定期演奏会 (11/2) 指揮 古谷誠一  
ラヴェル/道化師の朝の歌  
メンデルスゾーン/Vn協 (Vn戸澤哲夫)  
フランク/交響曲

## 1998年 (平成10年)

- ニューイヤーコンサート (1/17) 指揮 古谷誠一  
チャイコフスキー/交響曲1「冬の日の幻想」  
チャイコフスキー/くるみ割り人形 (長畑バレエ団)



- 第71回定期演奏会 (5/24) 指揮 三原明人  
ワーグナー/「リエンツィ」序曲  
ブルックナー/交響曲9  
モーツァルト/Pf協20 (Pf山田美知子)  
□第72回定期演奏会 (11/15) 指揮 古谷誠一  
リヒャルト・シュトラウス/交響詩「ドン・ファン」  
シューマン/交響曲4  
ベートーヴェン/Pf協「皇帝」(Pf小野智子)



ブルックナー 交響曲 No. 9

## 1999年 (平成11年)

□ニューイヤークンサート (1/16) 指揮 大川内弘  
ヨハン・シュトラウス／「こうもり」序曲、春の声、  
常動曲、鍛冶屋のポルカ、エジプト行進曲、ウィーン  
の森の物語

モーツァルト／交響曲4 1「ジュピター」

□第73回定期演奏会 (5/23) 指揮 古谷誠一  
ヴェルディ／「ナブッコ」序曲

チャイコフスキー／交響曲4

ブラームス／Vn, Vc協 (Vn石田泰尚、Vc村井将)

□第74回定期演奏会 (11/7) 指揮 森口真司  
ワーグナー／「神々の黄昏」から

ジークフリートの葬送行進曲

ベートーヴェン／交響曲「合唱付」

(S吉田美子、A岩森美里、T吉田伸昭、B松尾健市)  
(鎌倉市民混声他)



姉妹都市 山口県萩市 演奏旅行

## 2000年 (平成12年)

□ニューイヤークンサート (1/23) 指揮 大川内弘  
グリムカ／「ルスランとリュドミラ」序曲

カバレフスキー／組曲「道化師」

チャイコフスキー／「白鳥の湖」から

リムスキー・コルサコフ／スペイン狂詩曲

□第75回定期演奏会 (5/20) 指揮 三原明人  
ドビュッシー／交響詩「海」

ブルックナー／交響曲7

□第76回定期演奏会 (11/18) 指揮 古谷誠一  
ボロディン／「イーゴリ公」序曲

ストラヴィンスキー／「火の鳥」

メンデルスゾーン／交響曲「スコットランド」

## 2001年 (平成13年)

□ニューイヤークンサート (1/13) 指揮 家田厚志  
バーンスタイン／「キャンディード」序曲

ドリーブ／「コッペリア」より

ロイドウェーバー／「オペラ座の怪人」より

(S小早淳、B川口寛記)

□第77回定期演奏会 (5/20) 指揮 小田野宏之

リヒャルト・シュトラウス／交響詩「ティル・オイレン  
シュピーゲルの愉快ないたずら」

モーツァルト／交響曲2 9

ブラームス／交響曲3

□第78回定期演奏会 (11/17) 指揮 古谷誠一  
スメタナ／「売られた花嫁」序曲

ブラームス／P f協1 (P f 芹澤佳司)

ドヴォルザーク／新世界交響曲



世界で一番小さいデパート

# アトリエ K&T

古布ちりめんの香袋など  
オリジナル商品、かわいいもの、素敵なもの、  
両手いっぱいにあります!

営業時間／11:00～17:00 定休日／月、火曜日  
〒248-0003 鎌倉市浄明寺3-2-27 TEL.0467-22-2615

クリスマスプレゼント、  
おきまりですか?





2002年(平成14年)

□ニューイヤーコンサート(1/19) 指揮 家田厚志



アンコール「そりすべり」より!?

チャイコフスキー／「眠りの森の美女」より  
ハチャトゥリャン／「ガイヌ」より  
ドビュッシー／小組曲  
ベルリオーズ／序曲「ローマの謝肉祭」

□第79回定期演奏会(5/18) 指揮 森口真司

ブラームス／交響曲1

ヴェルディ／「運命の力」序曲、「神よ平和を与えた  
まえ」、「朝の光がさしてきた」、「女心の歌」  
「告げよ船出の運命を」、「行け我が思いよ金色の翼に」  
「パリを離れて」、「エジプトとイシスの神に栄光あれ」  
「凱旋行進曲」、「戦いに勝った将軍よ前に出よ」  
(鎌倉市民混声他) (S 斎藤三和子、T 土師雅人)

□第80回定期演奏会(10/27) 指揮 古谷誠一

ブラームス／大学祝典序曲

マーラー／交響曲1「巨人」

バッハ／2 V n協奏曲 (V n 松野美智子、五味俊哉)

※本文中の曲名等は、演奏会毎に表記が異なる場合があります。

(2002年10月現在)



## ファミリーコンサートのお知らせ

鎌響がリニューアル!? 新年恒例のニューイヤーコンサートが  
『ファミリーコンサート』となって3月に。

2003年3月15日(土) 午後2時開演：鎌倉芸術館大ホール

ビゼー：「アルルの女」組曲より

ガーシュウィン：パリのアメリカ人 他

指揮：家田厚志

インスタントコンダクターコーナーもあります。お楽しみに!

# パート紹介

オーケストラは沢山の音が集まって、素敵な音楽を奏でます。沢山の素敵な楽器があり、沢山の素敵(?)なプレイヤーがいます。それぞれの楽器に特徴がある様に、各パートにも様々な個性がある様です。今回は「キャッチフレーズ」「セールスポイント」「ウィークポイント」「今後の抱負」という4つのテーマを設け、各パートのメンバーによる『パート自己紹介』をしてみました。メンバーの素顔を垣間見る事が、出来るかも知れません。

皆様の心にキラッと輝くのは、楽器のせいなのか、それとも個性のせいなのか・・・!?  
ぜひ、本日の演奏の参考にしてみてください。

## 1st Violin



(キャッチフレーズ)「何でも一番!!」  
間違いなくほかのグループより圧倒的多くのおたまじゃくしを音に転換している超多忙グループ。  
多量の松ヤニの煙の中でいたるところにつむじ風が発生し、弦は切れる、弓の毛は切れる、と一番の資材消耗グループでもある。  
指揮者の先生の注意を受ける回数も一番なら、合宿の配膳当番もいの一にやってくる。休符の数の少なさでも一番。よって練習中の居眠りは皆無?

(セールスポイント)と(ウィークポイント)は表裏一体。1st Violinは主旋律を受け持つことが多く、「私が、俺が」と一番前に陣取って一見かっこよく演奏する。そして「自分がいなければこのパートはダメになる」とそれぞれが自負しており、「one of them」に過ぎないのにちょっとしたミスで「音楽を壊してしまった」と大きな心理的苦痛を受けてしまう。しかしまたそれを何でもないかのように、あたかも他の人がミスしたかのように「年の功」でカバーをしてしまう集団でもある。だから私たちは「最強の唯我独尊、自己陶醉、自意識過剰、そして小心者」の軍団なのである。

(今後の抱負)コンマス五味氏曰く「古都鎌倉にふさわしい音色(?)を追求していきたいと思います。」

P.S.「求む、金の卵(若い労働力)」要するに、「新しいヴァイオリニストよ、いらっしゃい!」

通勤・通学服もおしゃれ着もすべて1日でOK!!

ドライクリーニングのクイックサービス

午前中にお出し下されば夕方迄に仕上がります

ファッション クリーニング  
**スピード・クワイック**

●AM9:00~PM7:00(日曜定休)  
逗子本店(71)3293  
逗子駅前店(73)8114  
逗子ハイランド店(72)1131  
鎌倉由比ヶ浜店(22)1501  
鎌倉大町店(25)3722  
鎌倉深沢店(32)2751  
藤沢店(22)5595  
茅ヶ崎十間坂店(85)9209  
茅ヶ崎共恵店(85)7310  
茅ヶ崎矢畑店(86)6607  
茅ヶ崎茶屋町店(87)2168

## 2nd Violin



(キャッチフレーズ) 3日やったらやめられないセカンドヴァイオリン。第一(ファースト)があるから第二(セカンド)がある、というわけで補助的なパートと思われがちですがなかなかどうして、延々と続くきざみでリズムを作るかと思えばファーストの旋律を低弦との微妙な音程で支えたり、時にはとびきりのソロも弾く、実に様々な役をこなす便利屋みたいなパートです。それこそオケの醍醐味で3日やったらやめられない、とても奥が深いパートです。

(セールスポイント) 抜群の出席率。オケ好き人間の集まりで、高い練習出席率が自慢です。トップの2人は年齢も体格も対照的ですが、不思議とまとまりのいい和気あいあいのパートです。

(ウィークポイント) 奥床しさが玉に瑕。周りの人が弾き始めてからやっと弾き出す癖がなかなか抜けません。

(今後の抱負) 主体性と一体感。「セカンドがうまいオケはうまい」と言われます。一人一人が主体性を持ちながらパートとして一体感のある音、楽器の内側から湧き出るような、太く、それでいてどこまでも美しい音を目指し、「鎌響のセカンドがうまいからうまい」と言われるように頑張りたいと思います。

## Viola

(キャッチフレーズ)

「鎌響歴史博物館」85歳の館長以下、有能な学芸員多数のビオラパート

(セールスポイント)

伝統と格式に溢れた典雅な響きの集団(若干のゆらぎを含む)

(ウィークポイント)

柔らかくあたたかいが、幅広い音程?

(今後の抱負)

伝統の中にも常に感性を磨き、音楽に対する真摯な気持ちと瑞々しい思いをもって、21世紀オーケストラ「鎌響」を内声から支えていきたい。

(そのためにも、若い人が増えて欲しい…と思う今日この頃)





# Cello



チェロパートは、よく「奇人変人が多い」と言われますが、これは全くの誤解です。リーダーのIさんを筆頭に温厚で、優しく、シャイな人の集まりです。

なぜ誤解されるのか？確かに練習の出席率が一番悪い、飲み会にもほとんど出ない等、マイペースな人が多いかもしれません。しかし、話してみるといい人ばかりだし、少し熟れているが美女も多いし、とても明るく楽しいパートです。

また、オーケストラにおけるチェロパートの役割を果たす事はなかなか難しい事です。チェロは、ソロや特にバスの線を通して、コントラバスと共に曲の構造を形成していくオーケストラの背骨であります。人間でも背骨がまっすぐ安定していれば、そこから筋肉が相互に関連し自由に動く事が出来る様に、オーケストラでも、バスが安定性、リズム感、音楽性等、音楽の構成力をしっかり持っていれば、他のパートも安心して自由な音楽表現が出来るものです。

しかし、何と言ってもチェロパートはマイペースで合わせる事が苦手。今後の抱負は、指揮者を見て、よく合わせる事。そこからまず心掛け、テクニックを磨き、音楽性を追究していけるとさらにいいなあと思っています。

これからも応援して下さいね！



# Contrabass



パート別に見て一番平均年齢が高いらしく(?)、オジさんだらけのグレーなイメージのコントラバスパートだったのですが、今年うら若き女性団員が1名入団してようやく人並みのパートになったような気がしています。

我がパートの音楽面以外での特徴は、大酒飲みが揃っている訳でもないのに飲み会が好きなこと。大体2~3ヶ月に1回のペースでバス会を開いています。ただこれがロングランなんですね〜。昼過ぎから真夜中まで飲みつづけます。



我がパートの音楽面での特徴は、言わずと知れた音程の幅の広さと音の立ちあがりの鈍さでしょうか。これが芸術館の大ホールの音響と相俟って客席に音が届かないという現象に繋がっております。直接音は周波数が低いから360度放射するけどその分単位面積当たりのエネルギーが減っちゃうので聞こえにくいんです。音程を合わせて倍音列も揃わせないと…

ともあれ、このような欠点を解消すべく、合宿では合奏の合間を縫ってバスだけのアンサンブルを積極的にこなしました。1人1人の責任が明確になるアンサンブルは個々人の意識付けには最良の薬となったようです。えっ、今日の演奏会でもそんなに改善してないって？ウーン（マーラーはソロが命！）

# Piccolo & Flute



今日も相変わらず「電信柱（高い音）」に  
いどむ6人衆です。

私は、高校時代に初めてオーケストラの  
スコアというものを手にしたとき、その1  
番上に自分の吹く楽器があるのを知って、  
えらく誇らしげに思ったものでした。

さて、その6人衆。40周年にもっともふ  
さわしいグループと言えます。何で?? 団暦。  
もっとも長いK氏をはじめとして、Hさん、  
Tさんのお3方は既に30年。女性のお2  
人は、子育ての休団を克服して、現在も記

録更新中。大きな面をしているYも20年を過ぎたくらいではBクラス。つい最近入団した印象の  
S氏でさえ、10年を超す。「新しい血を」との外圧で、幸運にも入団しえたYさんは、まだ20代  
前半? この年代差をどう克服していくか、新しいパートリーダーTさんの手腕にかかる。  
スコアの位置にふさわしく、木管のリード役が務まるかどうか……? これからもよろしく。

# Oboe

(キャッチフレーズ)『我が道を行く人の集まりオ  
ーボエパート』全くまとまりがないのが特徴です。  
東西南北、4人みな違う方角を向いてます。仲が  
悪いのではないですよ。それぞれが独自の世界の  
持ち主なのです。

(セールスポイント)『ソロは張り切る人達です』  
メンバー全員、独奏(走?)大好き!ここ一番、  
オーボエ吹きの本領発揮です。上手い下手関係あ  
りません!大作曲家の素晴らしいメロディーを吹  
く事が、私達が幸せを感じる時なのですから。本  
日の演奏は、上手くいくでしょうか?

(ウィークポイント)『お酒は飲ませないで下さい』  
飲んだ途端に乱れる人間が集結しているのも、我がパートの特徴かもしれません・・・反省しま  
す・・・飲みすぎに注意しましょうネ。

(今後の抱負)『脱・チャルメラ宣言』

私達、まとまりないけど、せめてパート練習くらいはやりましょうか? Yさん邸で。もう少し演奏  
技術を磨かないとサ。オーボエはオーケストラの華、みんなが注目してるもんネ。頑張ります!



# Clarinet



(キャッチフレーズ)

\*\* わが道をいくクラリネットパート \*\*  
(セールスポイント)

\*\* お前はお前、俺は俺、されど仲よき \*\*  
つまり、世界平和を実現する為の精神に満ち溢れている、争いの無い大人のパートなのです。

(ウイークポイント)

\*\* 大人すぎて (?)

コミュニケーション不足\*\*

パート会議もパート練習もしばらくやった記憶がありませんねえ。

よくこれで音が合うものだ・・・ (技術が高い証拠かしら???)

(今後の抱負)

今日こそ、メンバー全員で打ち上げに出席してパート会議でも開きましょうか?

# Bassoon

(キャッチフレーズ)

ほのぼの煙突パート

(セールスポイント)

親子ほどの歳の離れている二人ですが、それはほとんど関係なく、

お互いに意見を出しながら、毎回楽しく仲良く練習していることです。

(ウイークポイント)

とりあえずパート構成人数が二人なので、どちらかがお休みすると、パートが成立しないこと!!

一人ぼっちの合奏、分奏は少し (いえ、と～っても) 寂しいのです。。。

(今後の抱負)

とにもかくにも新ファゴット吹き発掘

夢は・・・

エキストラさん無しで4管編成の曲ができること。

お休みした時も代わりに吹いてくれる人がいること。

鎌響室内楽演奏会にファゴット四重奏なんかで参加しちゃうこと・・・等等

あ～なんて贅沢!!!

「求む!! 頼りになるスーパーファゴット吹き!」です。





# Horn



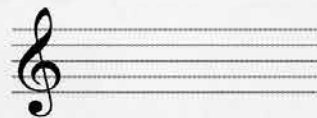
(キャッチフレーズ) 酔えば酔うほどよくハモる！  
 鎌響のハモリ役。ハーモニーはちょっと頑張っ  
 てるぞという自負と、練習後の飲み会への良好  
 な出席率とを表してみました。

(セールスポイント) 真面目と正直。  
 どんなに高い音が連続しても、「誰かが吹いて  
 くれるからいいや」とは決して考えず、マーラ  
 ーの最後のきつい部分も、ただひたすら、必  
 死に吹き続けます。おまけに正直なので、ちょ  
 っとでも油断したり、体力的に問題が発生した  
 りすると皆さんにもそれがはっきりわかるよう  
 に演奏します。

(ウィークポイント) IT化の遅れが目につくホルンパート。メールアドレスを未だに持たないパート  
 員がいるかと思えば、携帯電話の保有率は6割以下！練習予定変更の連絡が滞ることも少なくありま  
 せん。ホルンパートにIT革命を！

そしてじわじわ迫る高齢化の波、求む「20代！！」

(今後の抱負) さあ、こんな我々、これからは指揮者や他のパートや会場から、驚かれ羨ましがられ  
 るようなホルンパートにするぞ！まだちょっとベルリンフィルにはかなわないような気がするから、  
 「なんで、あんなにうまいの?!」はあえて今回は目標にせず、「なんで、みんなあんなに楽しそう  
 なの」を、どうしても言わせる。どうだっ。



# Trumpet



(キャッチフレーズ)

仲良しさっぱり顔。(濃い顔も大歓迎。)

(セールスポイント)

魅力的な一重まぶた。とおった鼻すじ。

(ウィークポイント)

ときどき合奏中前方のパートから振り返って見  
 つめられます。

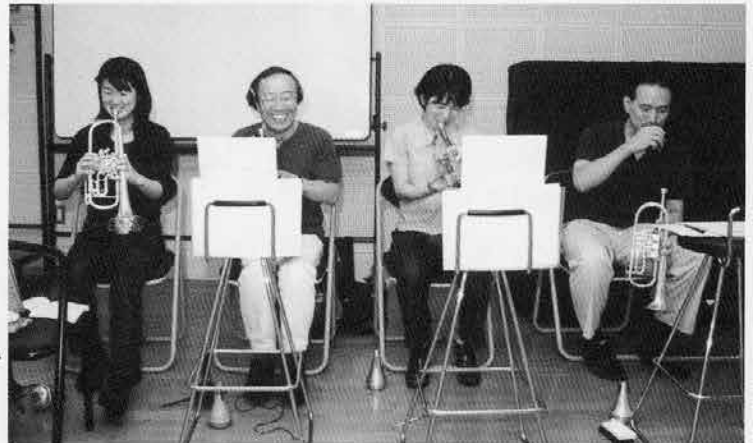
ホント、もてすぎて困ります。(違う。もっと  
 シッカリ吹け?)

そんなに振り返られると心臓が縮みあがってしまいます。

(今後の抱負)

もっといろいろな色で音を表現できるように

たくさん飲んだり食べたりして、さらに人生経験を積みます。



# Trombone & Tuba



(キャッチフレーズ)

いつもはメロディの裏で、ハーモニーの穴うめやリズム隊長。でもいざという時は、全オーケストラを圧して、壮大なメロディ役を担う。

(セールスポイント)

気がやさしくて、力持ち。

(ウィークポイント)

やさしすぎて、ちょっと気が弱いのが玉にキズ。

(今後の抱負)

他パートは、この曲は難しすぎて出来ないとか、この曲はきれいとか、ぜいたくをいっているけど我々はいたって謙虚。『出番がある曲をやって下さい!!』

※ オーケストラの中でトロンボーンが市民権を得るのは、ベートーヴェンが「運命」で使ってくれて以降なのです・・・。

# Percussion

(キャッチフレーズ)

『叩けば響く心の音、全身全霊かけてるんです!!』

“誰でも音が出るんでしょ” “休小節は多いし、出番が1発だけの時もあるんでしょ?” など言われる太鼓。

ひどすぎる…違うんです、キャッチフレーズ見て下さい。演奏聴いて下さい。

(セールスポイント)

・太鼓がほんとに好き!!パート内の結束がやたらと強い。  
・『喫煙率100%』地球に絶対優しくない奇人カルテット!?

(ウィークポイント)

・誰一人、主張を曲げない。オーラを出して、おどして、黙りとおして、キレて・・・ただひたすら押し通す!

・お腹が弱い。本番前の奇襲に備え、下痢止めは常備薬!

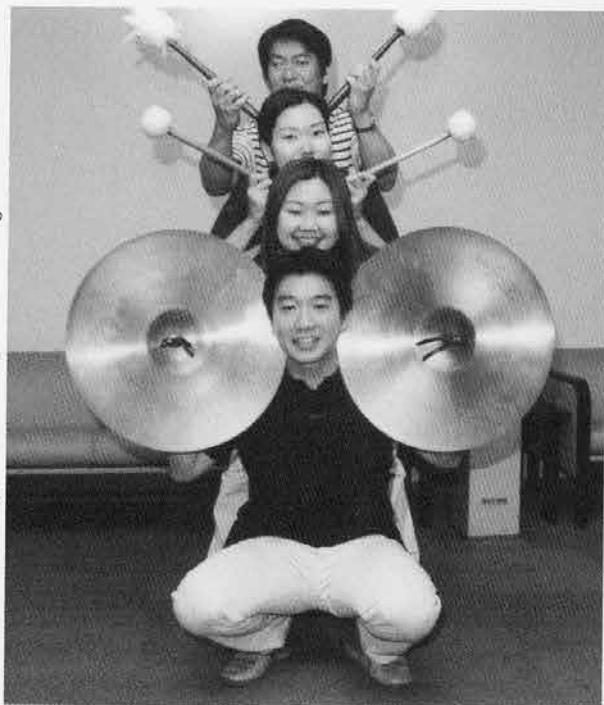
・練習時、なかなかメンバーが揃わない。海外出張、夜勤…その代打に幾つもの楽器を兼任(手が6

本位に増える)。全員集合すると「自分の本当の担当楽器はなんだっけ???’’」となってしまう。

これでいいのかっ、鎌響打楽器!?

(今後の抱負)

一打入魂、魂の震える様な演奏をしよう!愛と感動を伝えよう!





# 団員出演者名簿

常任指揮者：古谷 誠一

コンサート・マスター：五味 俊哉

マネージャー：吉田 龍夫／芳賀 節子

名誉団長：日比谷平一郎

事務局：田中 幸一

前沢 実／芥川 敬

団長：山本 賢二

副団長：小原 克馬／河原 寛

会計：曾根 民子

ライブラリアン：三門 サカエ

40周年実行委員：(委員長) 吉田龍夫

青木俊憲／宇多綾子／太田 純／桐本圭三／清水里美／白水千晶／芳賀節子／畠中正志／松木祐子／山田美奈子

## 1st Violin

青柳 由紀  
宇多 綾子  
遠藤 勝智  
小原 治子  
川西 清美  
◎河原 寛  
神戸さと子  
桐本 圭三  
◎五味 俊哉  
重兼 文恵  
菅井 直介  
高橋けい子  
中村 順子  
中村 裕子  
日高理恵子  
広木 孝嗣  
松野美智子  
山岡 祐介

曾根 民子  
◎高橋 良子  
富岡 陽子  
中橋美木子  
西村靖之助  
芳賀 節子  
馬場 潔子  
八木 育江

## Viola

箴島 純子  
小原 克馬  
澤田 淳也  
清水 正義  
田中 順子  
田中 智康  
中村 恵  
日比谷平一郎  
三門サカエ  
◎水上 清  
宮下 重美

佐藤 洋子  
志村 篤子  
鈴木 達広  
田中 幸一  
中井 良樹  
中野太一郎  
西山 優子  
若山 五郎

## Contrabass

青木 俊憲  
梅沢 定彦  
大内 達郎  
佐藤 正  
中村 安孝  
◎原 宏造  
福島 晋哉  
丸 陽子  
矢野 健  
渡辺 均

## Oboe

紅林 優志  
桑野 若菜  
◎中橋 英純  
山本 賢二

## Clarinet

伊澤 力  
内田千枝子  
片山真知子  
鈴木 美緒  
前沢 実  
◎望月 俊哉

## Bassoon

◎松木 祐子  
◇松木 葉子  
矢吹 紀子

## Horn

◎芥川 敬  
白井 賢司  
芳我 朋子  
宮崎 敏幸  
福地 亜希  
山崎 和之  
山田 克彦

## Trumpet

◎清水 里美  
津金 勝技  
福地 稔栄  
森 久仁子

## Trombone& Tuba

有賀 功  
小林 雅子  
桜井 貴志  
日高 隆雄  
◎府川 創作  
※煤孫さえ子

## Percussion

明村 直美  
今城 信彦  
◎太田 純  
◇鈴木 真吾  
蓑田 俊之

## 2nd Violin

新井 俊成  
有田 静  
石橋 智子  
井上 康男  
大谷多満江  
五味 晶子  
◎白水 千晶

## Cello

天辰 庸介  
◎飯田 達男  
上田 和男  
織田 和也  
梶 淳子  
河原 究

## Piccolo&Flute

菊竹 秀夫  
曾根 美樹  
◎高橋 弘子  
畠中 由花  
山田美奈子  
吉田 龍夫

## Harp

◇杉山 敦子

◎パートリーダー

◇賛助出演

※団友

《製作・修理・毛替・販売》

# 弦楽器工房かわばた



TEL.045-261-5300 〒231 横浜市中区花咲町3-96-4 NTC桜木町ビル6F ●営業時間/AM10:00~PM7:00(日・祭休み)

## 鎌響団員募集

ヴァイオリン  
・  
ヴィオラ  
・  
ファゴット

(各パート若干名)

オーケストラ経験のある方

お問い合わせ

0467-25-3512 田中 方

フランス料理



## 小町園

横須賀線下馬ガード脇  
TEL. (22) 2370

## JURI et MODE

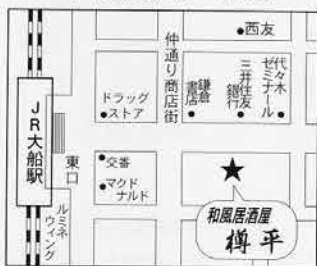
鎌倉市御成町 11-2  
(やのやビルB1)  
TEL.(0467)22-4105  
茅ヶ崎市中海岸1-1-58  
(大勝ビル1F)  
TEL.(0467)87-1145

## 和風居酒屋 樽平

営業時間

平日 休日  
PM4:30~AM12:00 PM3:00~AM12:00  
大晦日・元旦 休業

☎(0467)46-3188



信頼と確かな技術の店  
メガネの専門店

八幡宮前通り

## 森川眼鏡店

メガネの事ならなんでも相談  
お気軽に。



- 遠中近多焦点レンズ
- 中近多焦点レンズ
- 近近用レンズ

あなたに合ったメガネ  
を御調整致します。



珈琲・洋菓子

# 177

小町通り (22)2689  
(22)8963

保険・労災取扱

## 大船接骨院

佐藤 元一

大船駅東口ルミネ前

サトウビル

☎0467(45)6700(代)

## 輸入楽譜専門店

速い…安い…親切…

全国すぐ郵送します。



KAMAKURA  
MUSICA

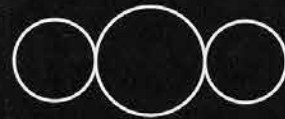
カマクラムジカ

TEL.0467-24-8766  
FAX.0467-22-9755

〒248-0005 鎌倉市雪の下1-10-5  
1st Ave. Kamakura 3F  
定休日=木・祝祭日

## クラリネット

レッスンしてみませんか?  
(フリータイム制)



横浜市戸塚区戸塚町3755-1-1-307  
川下方 TEL 045-865-4885  
片山クラリネット教室

耳鼻咽喉科、アレルギー科、神経耳科(めまい診療)

# 芋川耳鼻咽喉科クリニック

鎌倉・小町壺番館ビル3階 院長 芋川英紀

電話 (24)7273

新鮮な明日へ  
**KIRIN**

うまい!キリン

# キリンクラシックラガー

まっすぐなうまさが大人気です。



「昭和のラガー」が売れています。  
懐かしくて新しい、大人のうまさ、

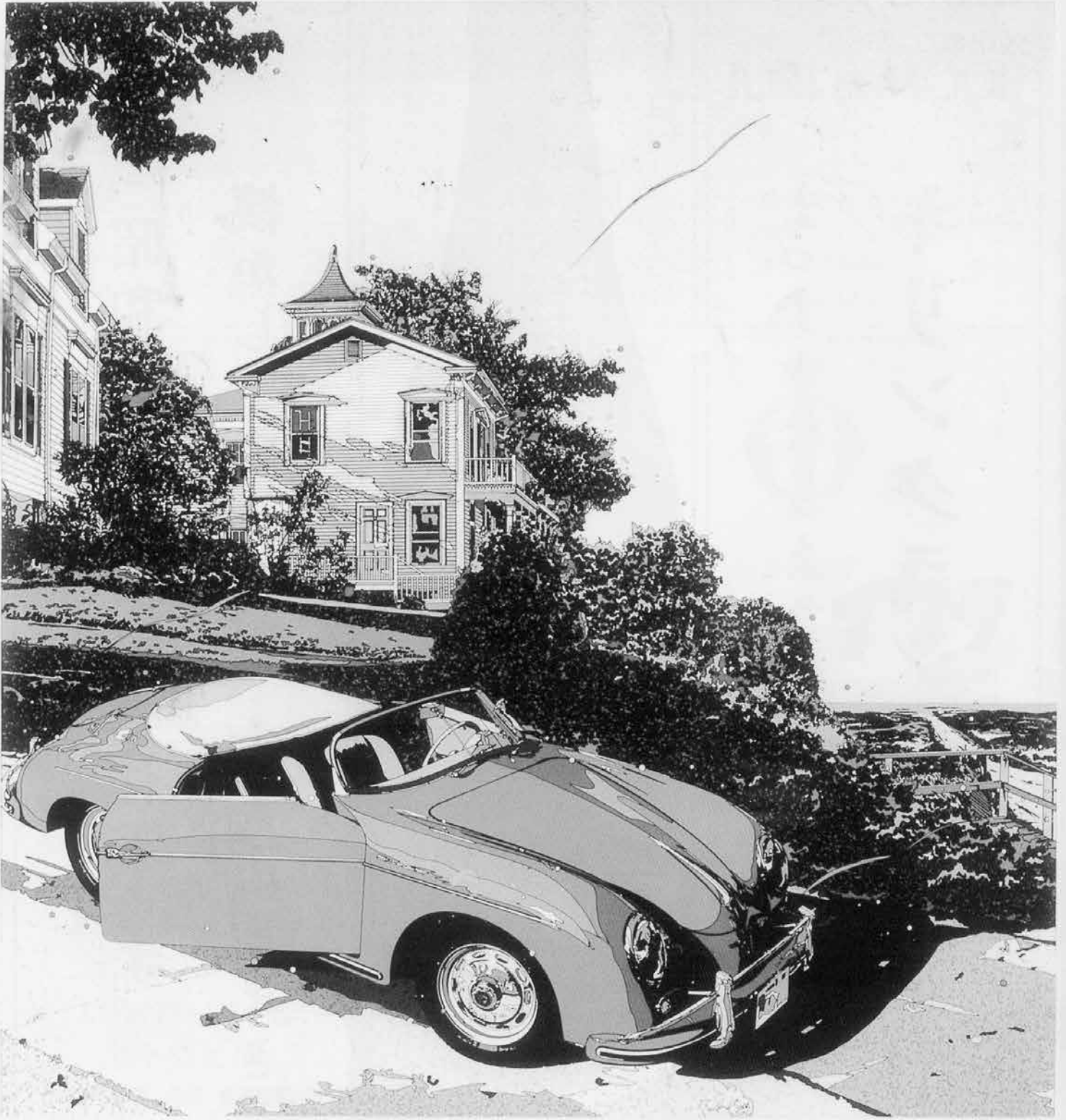
懐かしくて、新しい。  
キリンクラシックラガー

大びん・中びん・小びんで発売です。

飲酒は20歳になってから。空きびんはお取り扱い店へお戻し下さい。

[www.kirin.co.jp](http://www.kirin.co.jp) キリンビール株式会社

GOOD DAY 湘南



© EIZIN SUZUKI

SH NAN

湘南しんきん

<http://www.shinkin.co.jp/shonan>